

EXAMPLE CASE

アンドー塾 姉ヶ崎校

教室長 山下慶先生

スタディジムMANAを通して、ベーシックウイングを活用した集団個別指導を実践しています。

中学生 高校生

ベーシックウイングで 成績は上がる？

成績は最低でもキープ、というラインにはいると思います。さらにさぼらずにしっかりやった子は毎回確実にアップしています。5教科で合計150点上がった子がいたり、またそれをそのままキープし続けたりとか。あとは学年順位20番ぐらいからスタートした子もしっかり頑張っって年間で1桁の順位まで上げることができたりと、成績が確実にアップしています。

成績が上がる、というのはもちろんですが、それ以上に、生徒の勉強に対する姿勢が変わってくる、というところが魅力だと思います。



生徒との接し方は？



ベーシックウイングを使うことで授業中の仕事が減りました。以前だと個別指導だった場合、自分の担当の子の事しか見られなかったり、担当外の子だった場合は、講師に「また聞き」のような状態だったのですが、MANAのシステムを使うことで、全体を見ることができるようになりました。ですから、生徒の字の癖や、ノートの取り方を見るようになり、生徒に「もうちょっとこういうふうに変えた方がいいんじゃない？」というような細かいところまで言えるようになりました。

保護者や生徒の声は？

保護者様からは「塾に行くのが嫌だ」というのを言わない、勝手に自習に行くようになった、勉強しろと言わなくなった、という声を聞くようになりました。生徒からも「自習に来ていい？」「国語が分かるようになった！」って聞くことが多くなりました。



活用対象： 高校生



高校進学後の伸び悩みを ベーシックウイングで解消！

進学塾クエスト(群馬県)

古口徳夫塾長

高校部を新設するため2016年8月にベーシックウイングを導入。決め手は「1テーマ20分のため、集中力を切らすことなく見続けられる点」

教科ごとに全範囲が常に受講できることから、夏休みでは朝10時から夜10時まで受講する生徒もいるとのこと。

「生徒が学年上位をキープできるようになった。加えて英検にも合格する等、他にも効果が出始めている。特に国語の成績の伸びが良い」